

15. 「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の推進

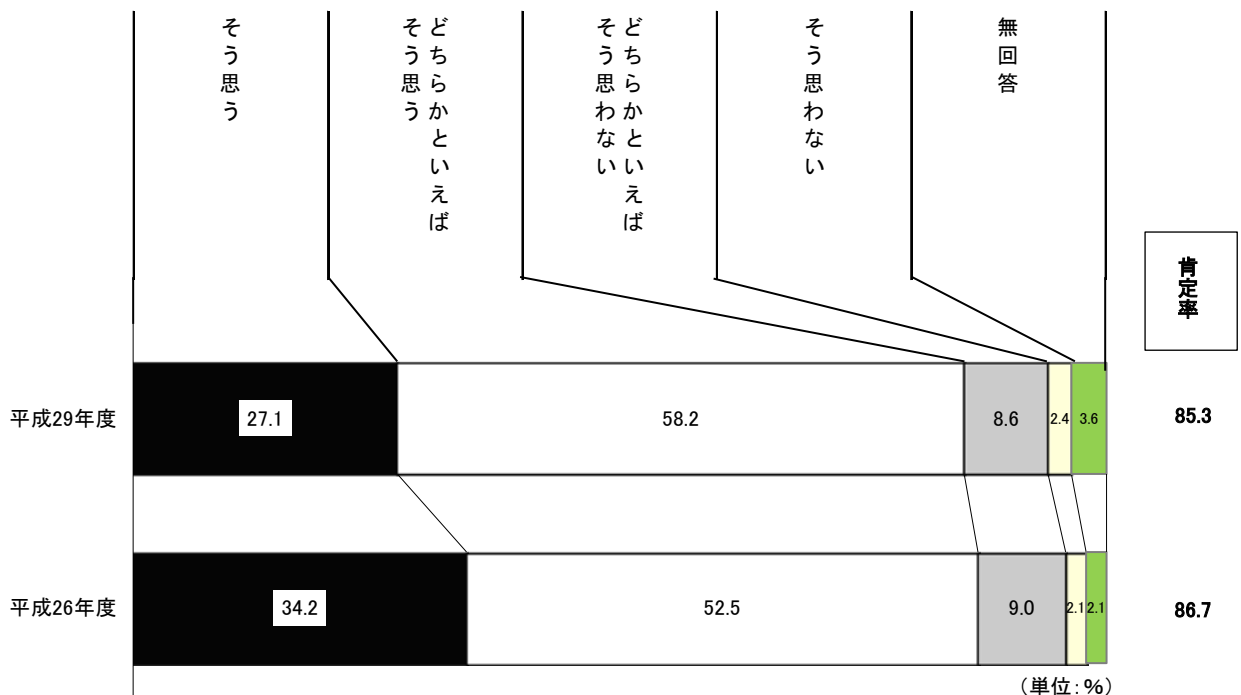
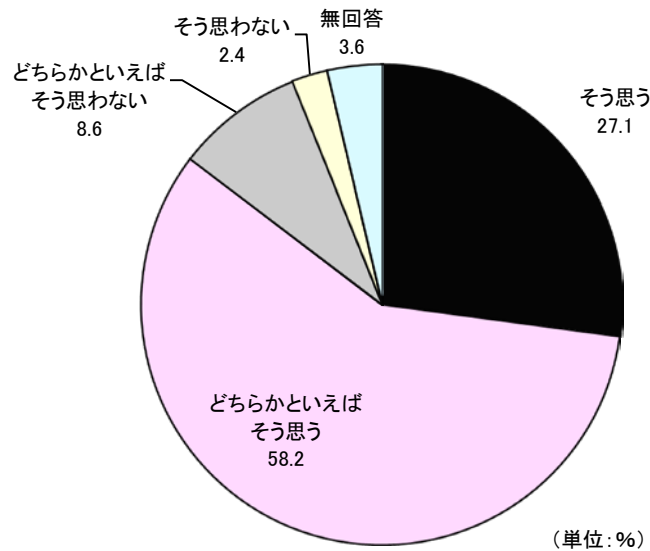
(1) 居住地の治安

問 41 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。
あてはまるものを1つだけ選んでください。

治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思う人が8割を超える

お住まいの地域について、「そう思う」と回答した割合は 27.1%、「どちらかといえばそう思う」(58.2%)をあわせた「肯定率」は 85.3%と、8割以上の方が安全で安心して暮らせる地域だと考えている。

前回調査と比較すると、「そう思う」割合は 7.1 ポイント減少しているものの、「どちらかといえばそう思う」割合は 5.7 ポイント増加し、「肯定率」はほぼ横ばいである。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

備北地方生活圏は「安心である」が35.2%と他の地方圏と比べて高い。「肯定率」は広島地方生活圏が85.2%、備後地方生活圏が85.3%、備北地方生活圏が88.8%となっている。

【性別】

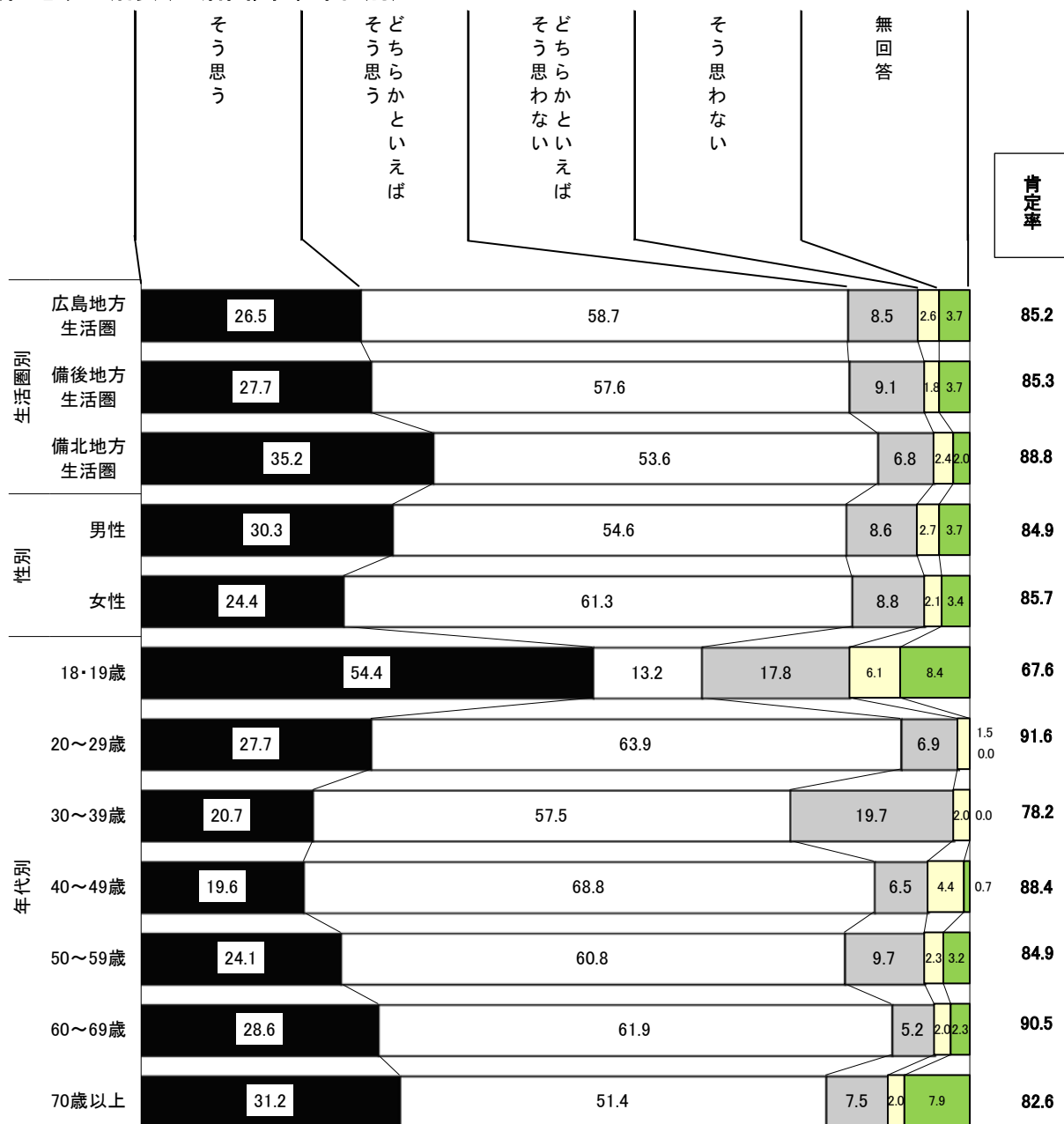
男性は「安心である」が30.3%と女性(24.4%)と比べて5.9ポイント高く、女性は「まあ安心である」が61.3%と男性(54.6%)と比べて6.7ポイント高い。

【年代別】

18・19歳は「安心である」が54.4%と他の年代と比べて最も高いものの、「まあ安心である」(13.2%)をあわせた「肯定率」は67.6%と他の年代と比べて最も低い。

「肯定率」は20歳代と40歳代以上が8割以上と高く、中でも20歳代と60歳代は9割を超えている。

居住地の治安(生活圏, 性, 年代別)



(単位: %)

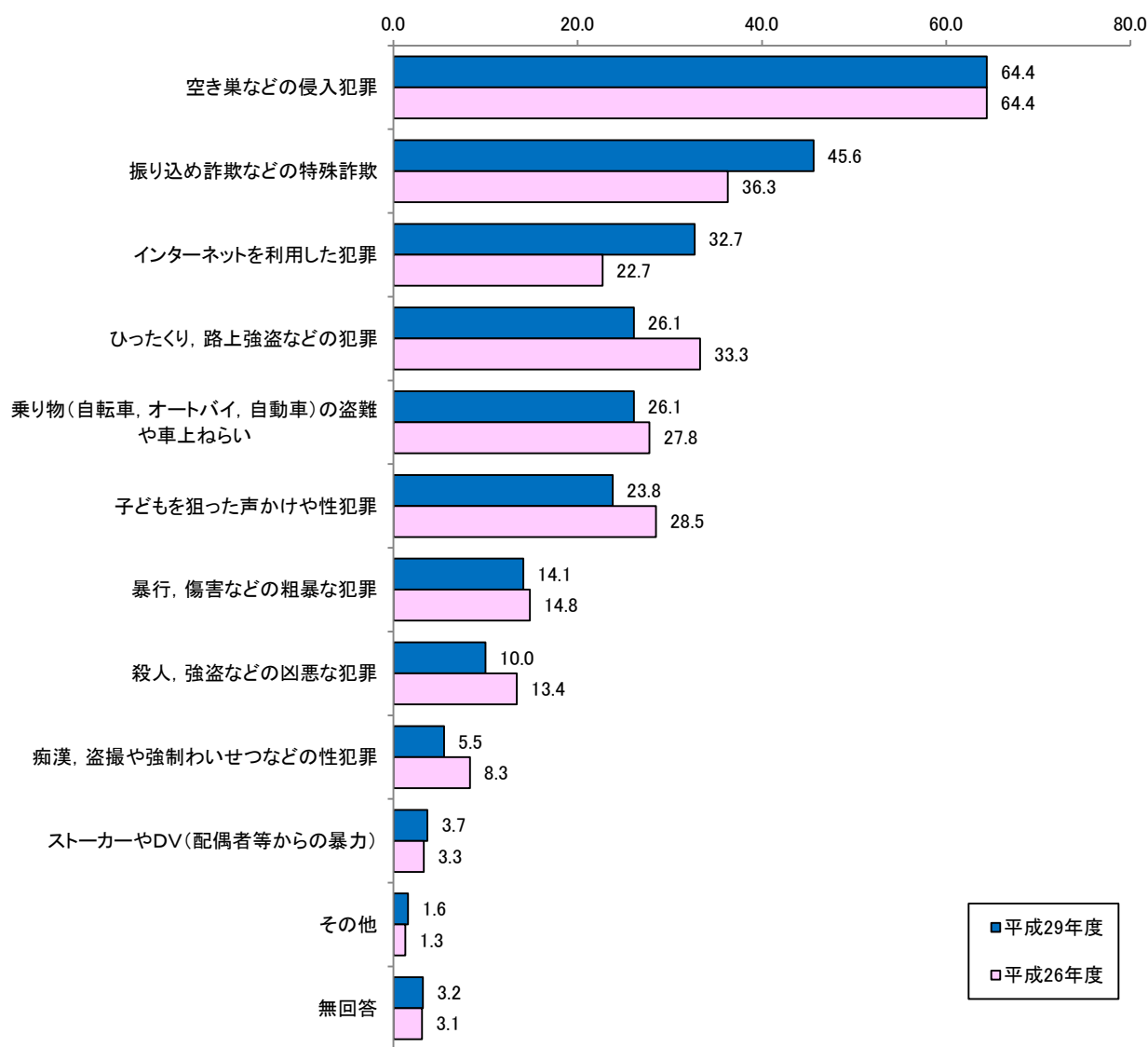
(2) 日頃不安を感じている犯罪

問 42 あなたが、日常生活において、自分自身や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安を感じている犯罪は何ですか。あてはまるものを3つ以内で選んでください。(M. A.)

「空き巣などの侵入犯罪」が6割。 「特殊詐欺」「インターネット犯罪」への不安度が上昇している

日頃不安を感じている犯罪について、「空き巣などの侵入犯罪」が64.4%と最も高くなっている。次いで「振り込め詐欺などの特殊詐欺」(45.6%)、「インターネットを利用した犯罪」(32.7%)となっている。

前回調査と比較して、不安度が上昇しているのは「振り込め詐欺などの特殊詐欺」(9.3ポイント)、「インターネットを利用した犯罪」(10.0ポイント)、一方で3ポイント以上低下しているのは「ひったくり、路上強盗などの犯罪」(7.2ポイント)、「子どもを狙った声かけや性犯罪」(4.7ポイント)、「殺人、強盗などの凶悪な犯罪」(3.4ポイント)である。



(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

広島地方生活圏は「ひったくり、路上強盗などの犯罪」が 30.7%と全体の 26.1%に比べて高い。備北地方生活圏は「振り込め詐欺などの特殊詐欺」が 58.0%と全体の 45.6%に比べて高い。

【性別】

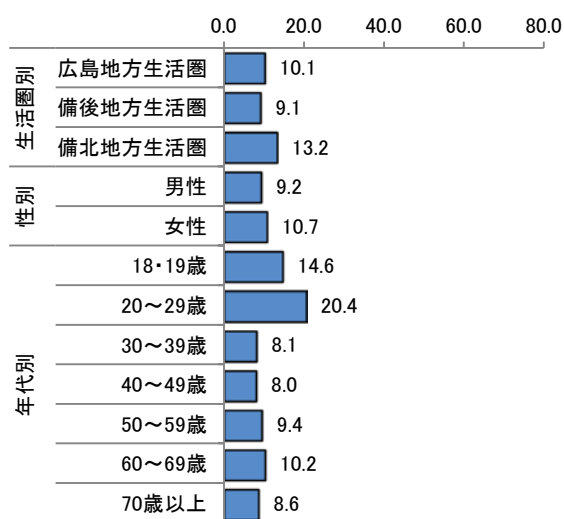
男性は「乗り物の盗難や車上ねらい」(29.7%)が女性(23.3%)と比べて 6.4 ポイント、「インターネットを利用した犯罪」(35.7%)は女性(30.1%)と比べて 5.6 ポイント高い。女性は「ひったくり、路上強盗などの犯罪」(31.9%)が男性(18.8%)と比べて 13.1 ポイント、「子どもを狙った声かけや性犯罪」(27.1%)が男性(19.9%)と比べて 7.2 ポイント、「振り込め詐欺などの特殊詐欺」(48.6%)が男性(42.1%)と比べて 6.5 ポイント高い。

【年代別】

20 歳代は「殺人、強盗などの凶悪な犯罪」(20.4%),「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」(21.8%)が他の年代と比べて高く、30 歳代は「子どもを狙った声かけや性犯罪」(45.3%)が他の年代と比べて高い。「空き巣などの侵入犯罪」は 60 歳代以上が7割程度と高く、「振り込め詐欺などの特殊詐欺」は 50 歳代以降で増加し、70 歳以上は 57.4%と最も高い。

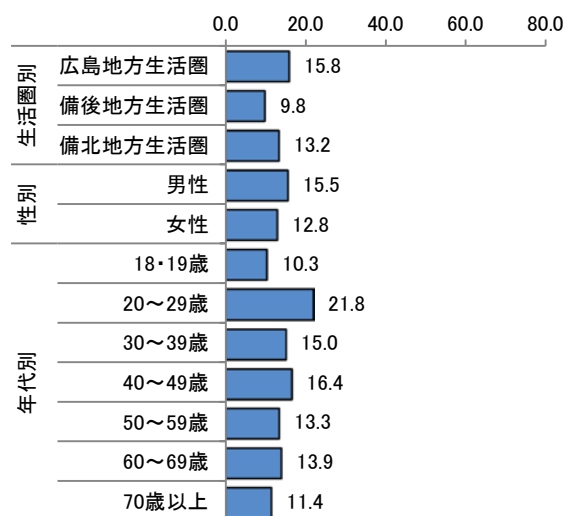
日頃不安を感じている犯罪(生活圏, 性, 年代別)

殺人, 強盗などの凶悪な犯罪



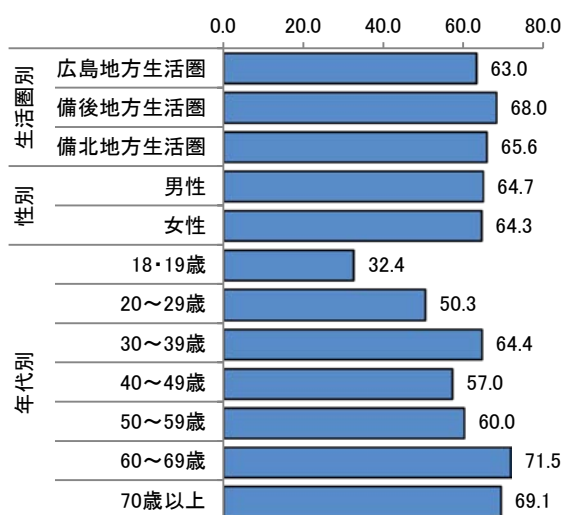
(単位: %)

暴行, 傷害などの粗暴な犯罪



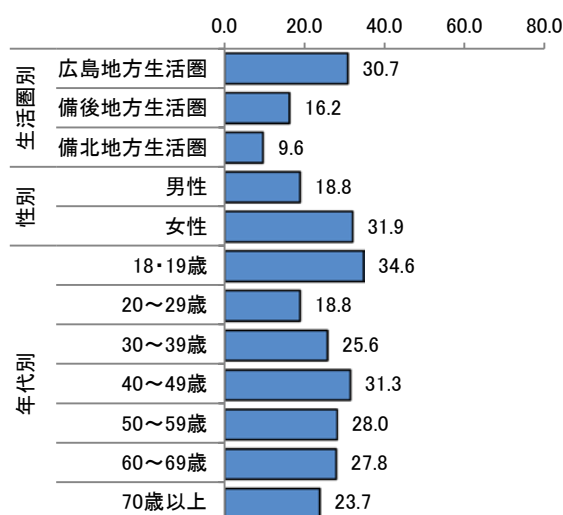
(単位: %)

空き巣などの侵入犯罪



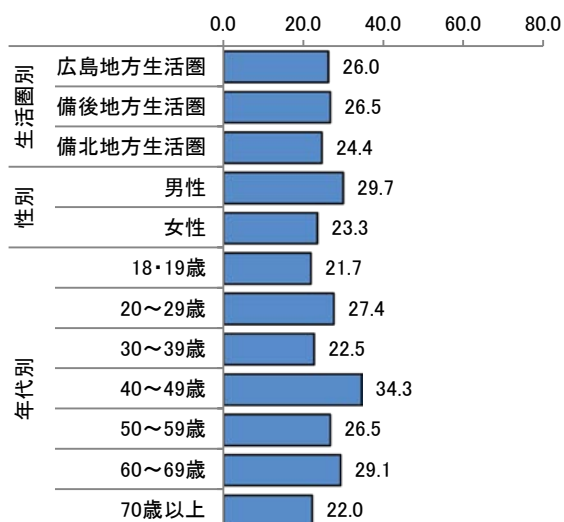
(単位: %)

ひったくり, 路上強盗などの犯罪



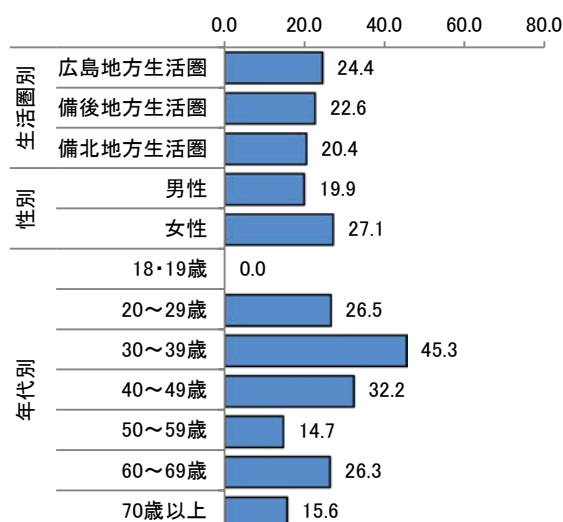
(単位: %)

乗り物(自転車, オートバイ, 自動車)の盗難や車上ねらい



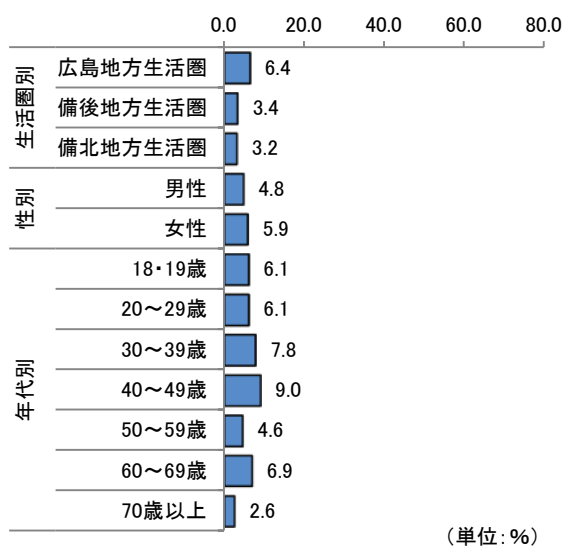
(単位: %)

子どもを狙った声かけや性犯罪

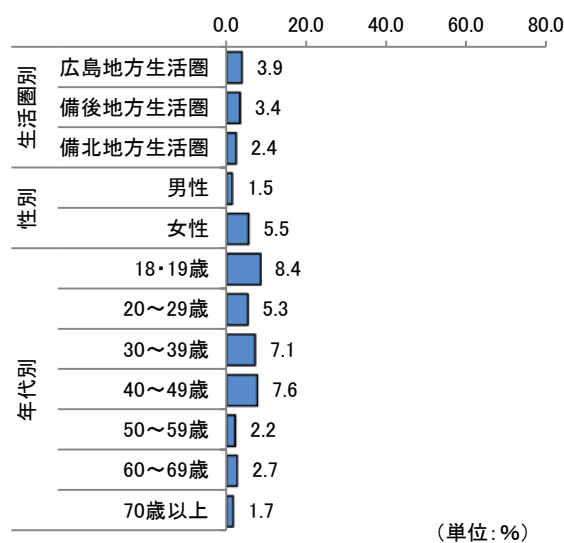


(単位: %)

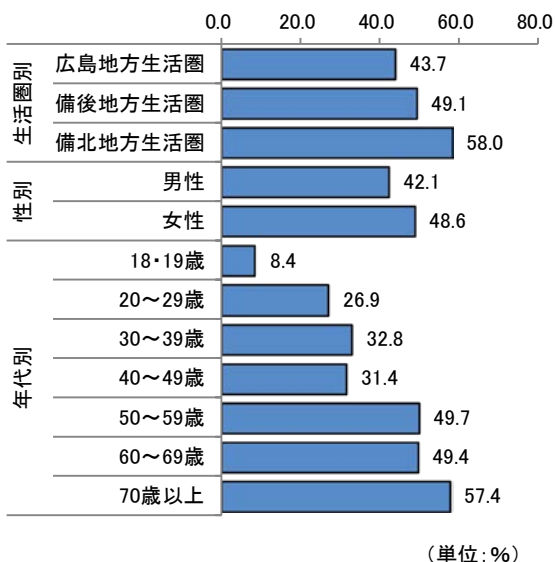
痴漢、盗撮や強制わいせつなどの性犯罪



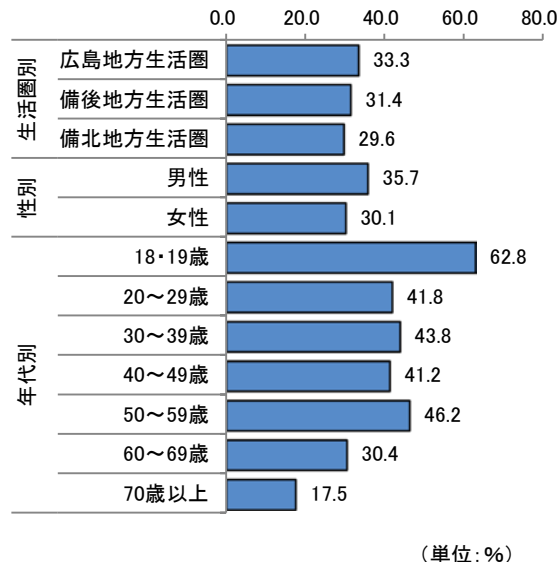
ストーカーやDV(配偶者等からの暴力)



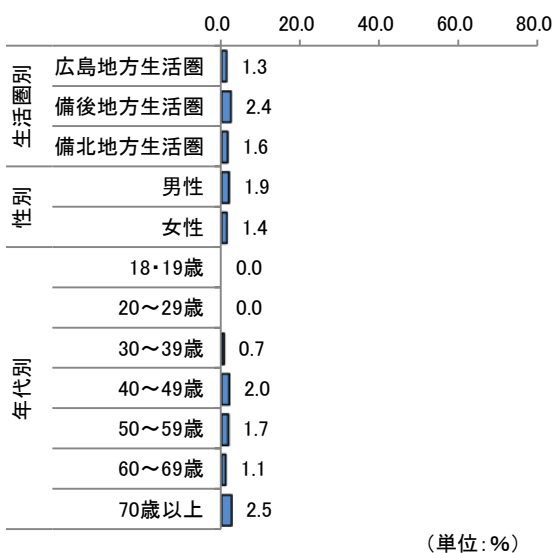
振り込め詐欺などの特殊詐欺



インターネットを利用した犯罪



その他



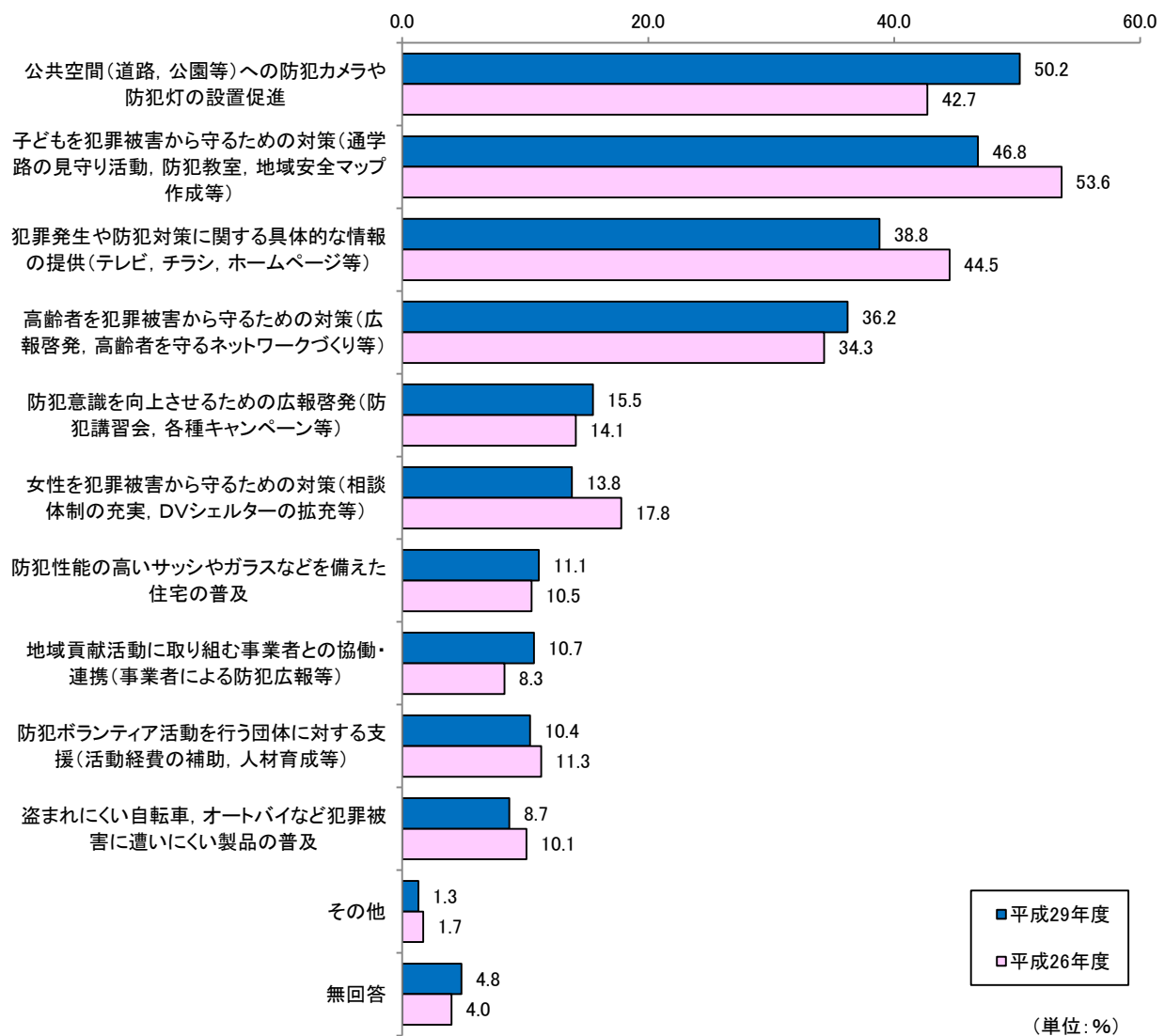
(3) 重点的に取り組んで欲しい防犯施策

問 43 安全・安心な生活を送るために、犯罪の取締り以外にどの施策を重点的に取り組んで欲しいと思いますか。主なものを3つ以内で選んでください。(M. A.)

「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」が半数

重点的に取り組んで欲しい防犯施策について、「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」が50.2%と最も高くなっている。次いで「子どもを犯罪被害から守るための対策」(46.8%)、「犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供」(38.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」は7.5ポイント増加、「子どもを犯罪被害から守るための対策」は6.8ポイント減少、「犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供」は5.7ポイント減少している。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」は広島地方生活圏(51.0%)と備後地方生活圏(49.1%)が半数程度と高い一方で備北地方生活圏(41.6%)は7ポイント以上低い。「子どもを犯罪被害から守るための対策」は広島地方生活圏(47.1%)と備後地方生活圏(46.6%)は半数近くと高い一方で備北地方生活圏(40.0%)は6ポイント以上低い。

「高齢者を犯罪被害から守るための対策」は備北地方生活圏が 43.2%と最も高く、他の生活圏と比べて7ポイント以上高い。

【性別】

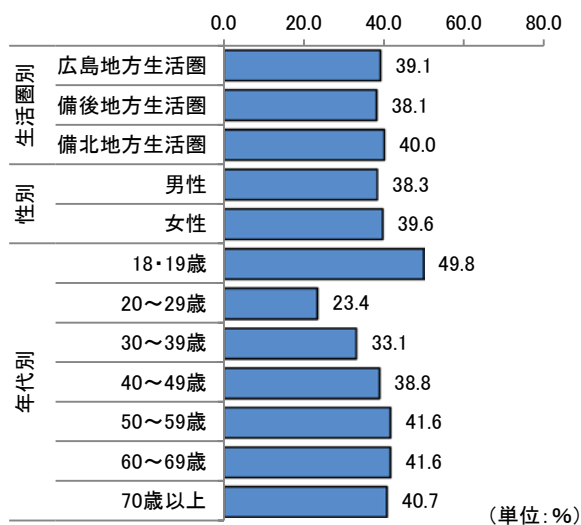
男性は「防犯意識を向上させるための広報啓発」(18.8%)が女性(12.7%)と比べて 6.1 ポイント高い。女性は「子どもを犯罪被害から守るための対策」(50.6%)が男性(42.0%)と比べて 8.6 ポイント、「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」(52.8%)は男性(46.4%)と比べて 6.4 ポイント、「女性を犯罪被害から守るための対策」(16.1%)は男性(10.9%)と比べて 5.2 ポイント高い。

【年代別】

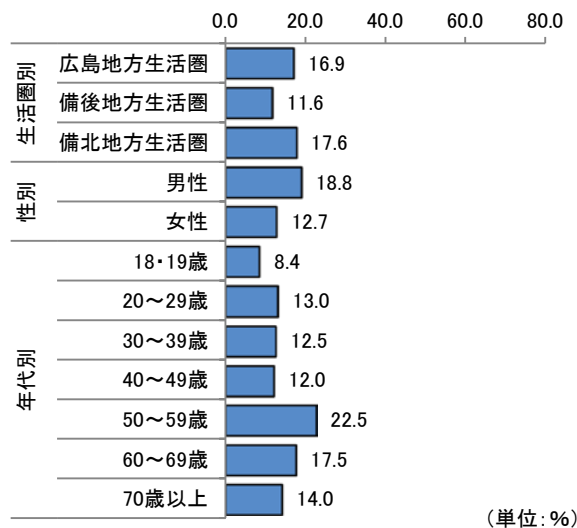
18・19 歳は「犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供」(49.8%)、「防犯ボランティア活動を行う団体に対する支援」(21.7%)が他の年代と比べて高い。30 歳代は「子どもを犯罪被害から守るための対策」(64.3%)、70 歳以上は「高齢者を犯罪被害から守るための対策」(55.6%)が他の年代と比べて最も高い。「女性を犯罪被害から守るための対策」は 30～40 歳代、「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」は 20～40 歳代が他の年代と比べて高い。

重点的に取り組んで欲しい防犯施策(生活圏, 性, 年代別)

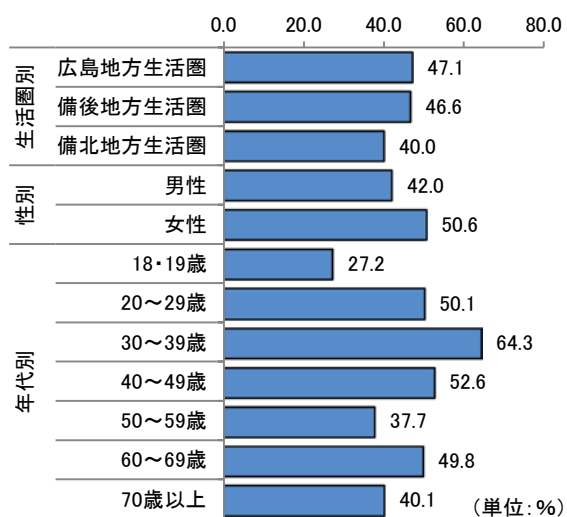
犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供



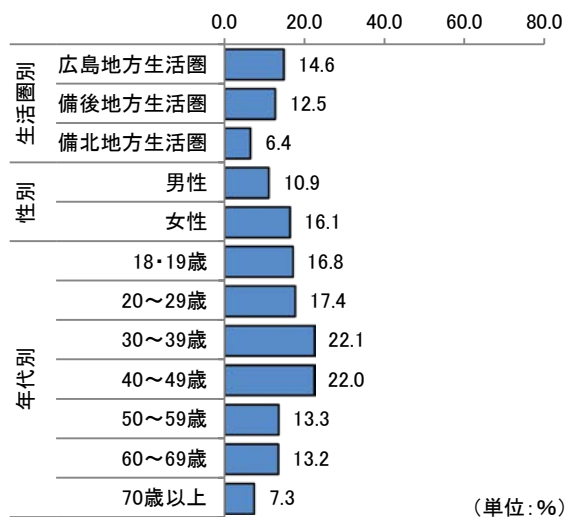
防犯意識を向上させるための広報啓発



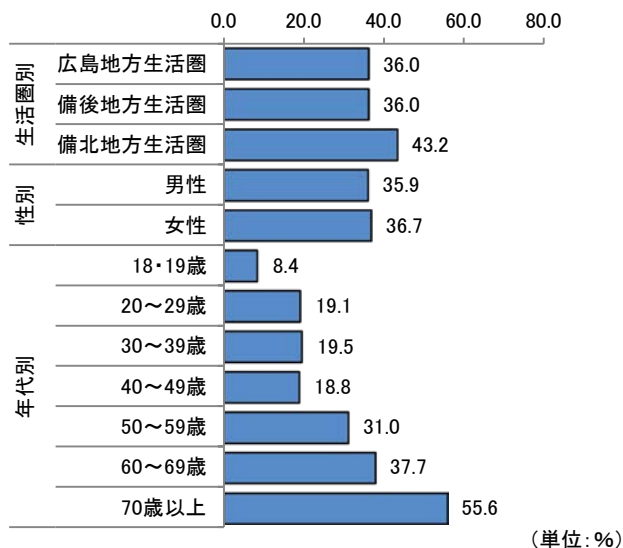
子どもを犯罪被害から守るための対策



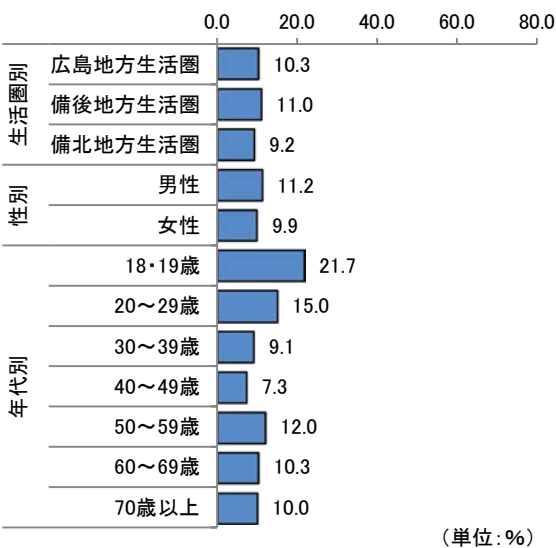
女性を犯罪被害から守るための対策



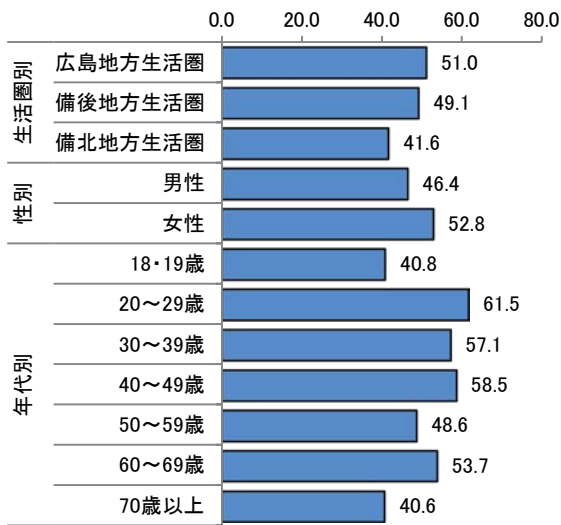
高齢者を犯罪被害から守るための対策



防犯ボランティア活動を行う団体に対する支援

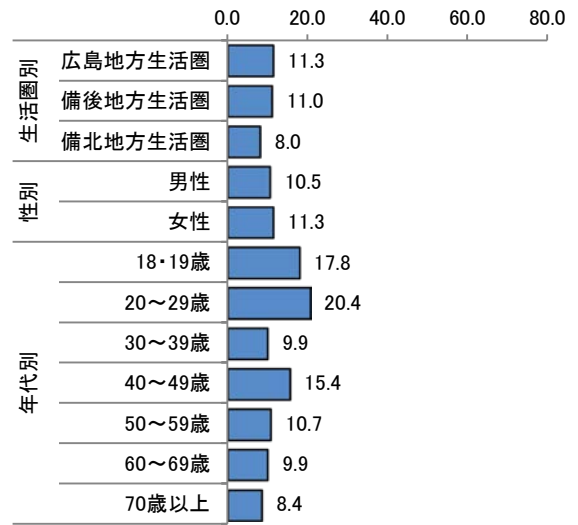


公共空間(道路, 公園等)への
防犯カメラや防犯灯の設置促進



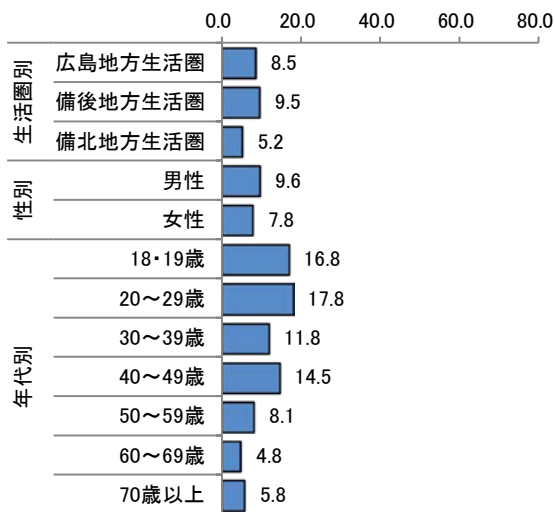
(単位: %)

防犯性能の高いサッシやガラスなどを
備えた住宅の普及



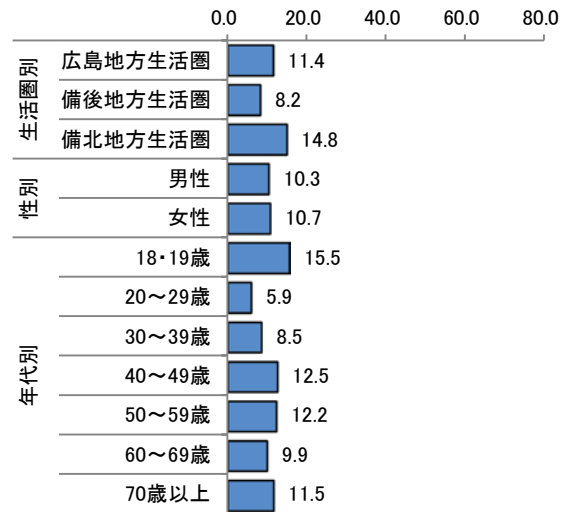
(単位: %)

盗まれにくい自転車, オートバイなど
犯罪被害に遭いにくい製品の普及



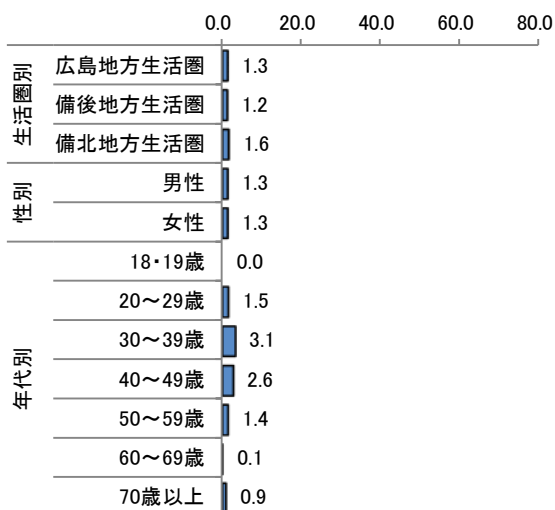
(単位: %)

地域貢献活動に取り組む事業者との
協働・連携(事業者による防犯広報等)



(単位: %)

その他



(単位: %)

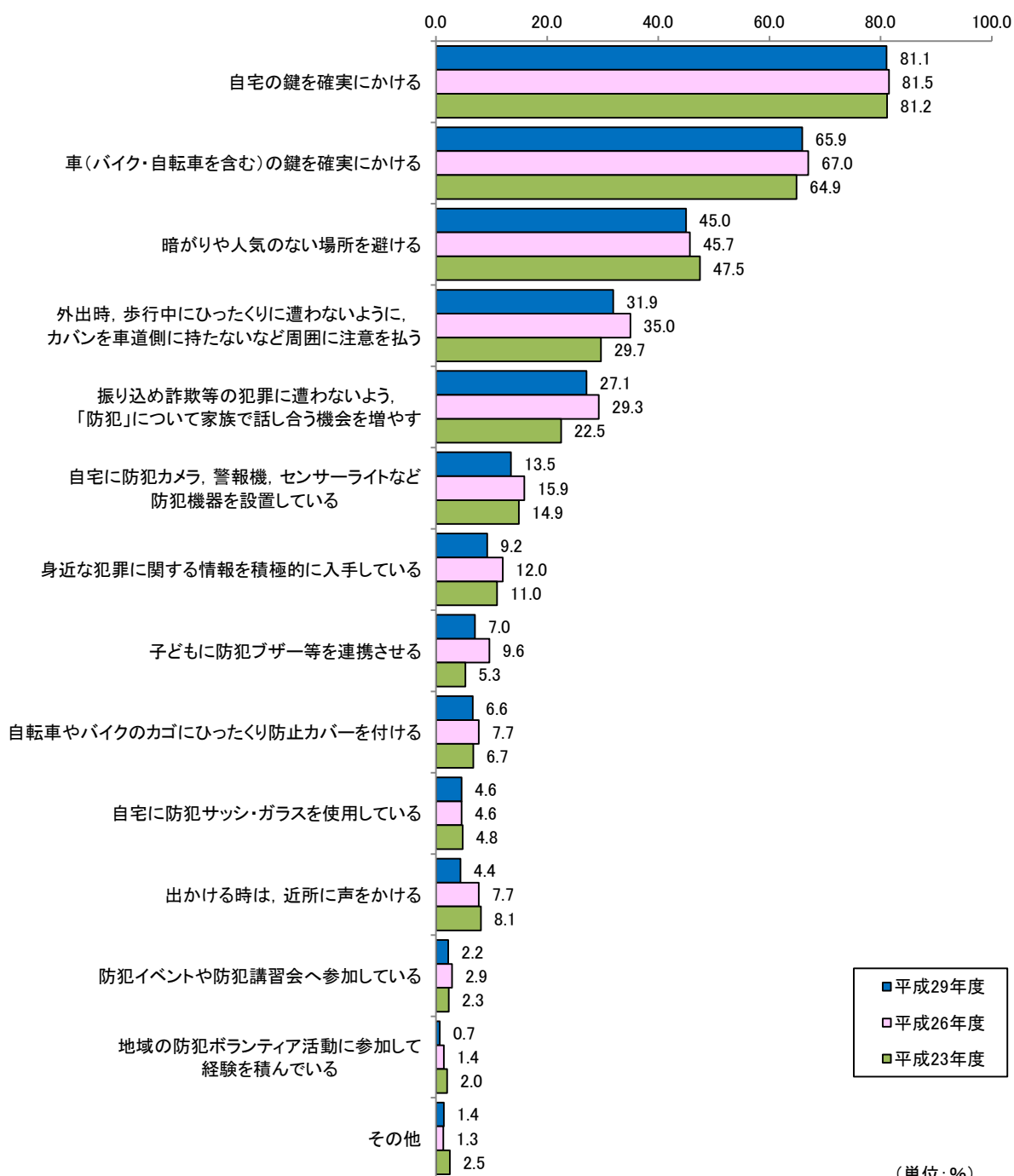
(4) 自主的な防犯対策

問 44 あなたは、ここ最近(おおむね3年), 犯罪被害に遭わないためにどのようなことに気をつけていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

**「自宅・車の鍵を確実にかける」
「暗がりや人気のない場所を避ける」が上位にあがる**

自主的な防犯対策について、「自宅の鍵を確実にかける」が 81.1%と最も高くなっている。次いで「車の鍵を確実にかける」(65.9%), 「暗がりや人気のない場所を避ける」(45.0%)となっている。

前回調査と比較すると、全体的に防犯対策を心がける割合がやや低くなっている。



(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

広島地方生活圏では「外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど周囲に注意を払う」(36.5%)が他の生活圏と比べて高い。「自宅の鍵を確実にかける」、「車の鍵を確実にかける」、「暗がりや人気のない場所を避ける」は広島地方生活圏と備後地方生活圏の回答割合が高く、備北地方生活圏と比べて7ポイント以上高くなっている。

「振り込め詐欺等の犯罪に遭わないよう、「防犯」について家族で話し合う機会を増やす」、「出かける時は、近所に声をかける」は備北地方生活圏の回答割合が高く、他の生活圏と比べて5ポイント以上高くなっている。

【性別】

女性は「暗がりや人気のない場所を避ける」、「外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど周囲に注意を払う」の回答割合が高く、男性と比べて25ポイント以上高くなっている。

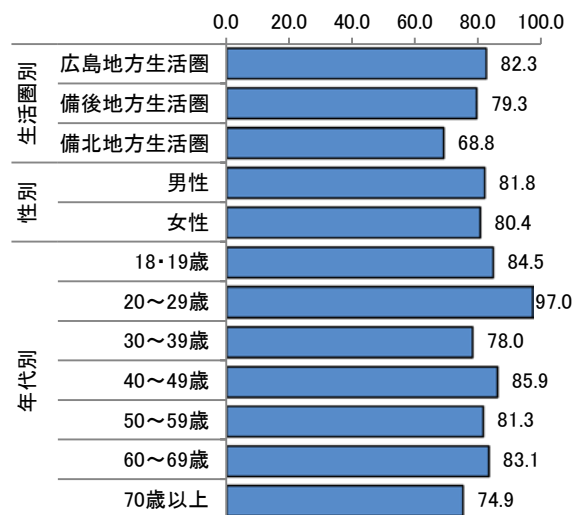
【年代別】

「暗がりや人気のない場所を避ける」、「外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど周囲に注意を払う」は18・19歳の回答割合が低い。

「子どもに防犯ブザー等を連携させる」は30～40歳代が他の年代と比べて高く、「振り込め詐欺等の犯罪に遭わないよう、「防犯」について家族で話し合う機会を増やす」は70歳以上が他の年代と比べて高い。

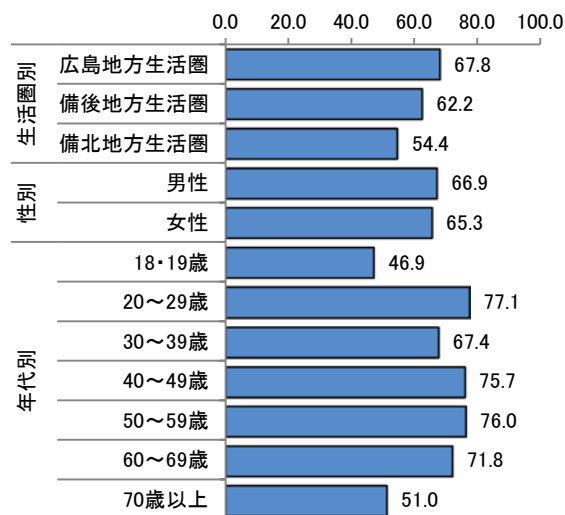
自主的な防犯対策(生活圏, 性, 年代別)

自宅の鍵を確実にかける



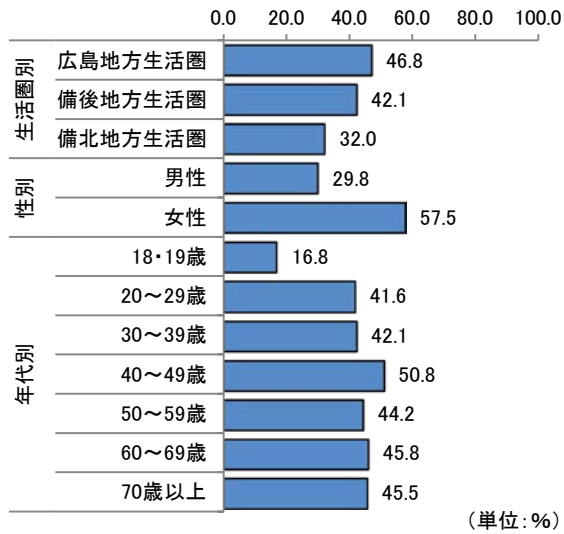
(単位: %)

車(バイク・自転車)の鍵を確実にかける

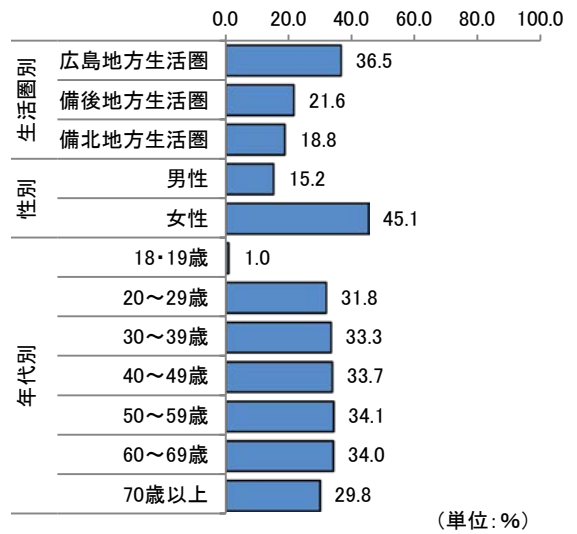


(単位: %)

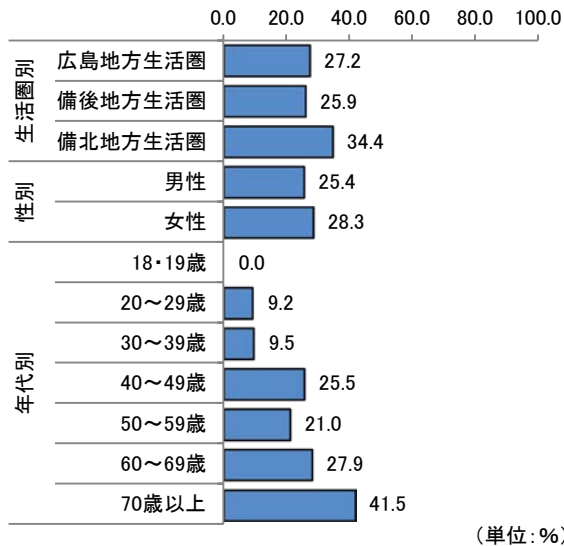
暗がりや人気のない場所を避ける



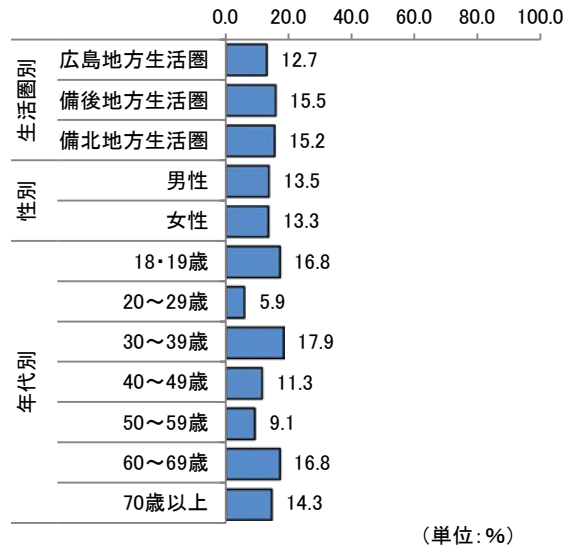
外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど周囲に注意を払う



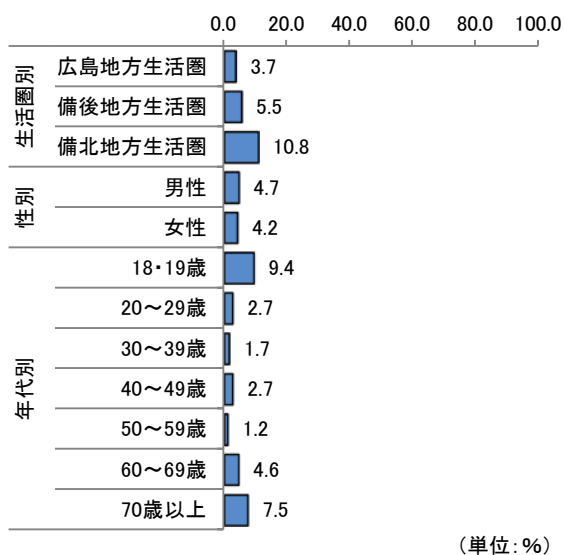
振り込め詐欺等の犯罪に遭わないよう、「防犯」について家族で話し合う機会を増やす



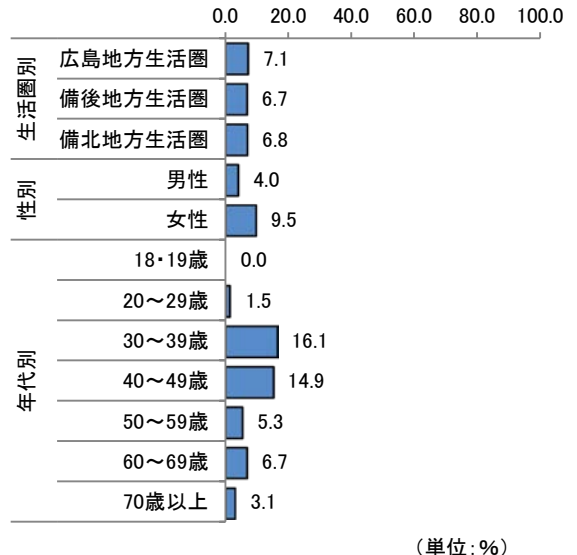
自宅に防犯カメラ、警報機、センサーライトなど防犯機器を設置している



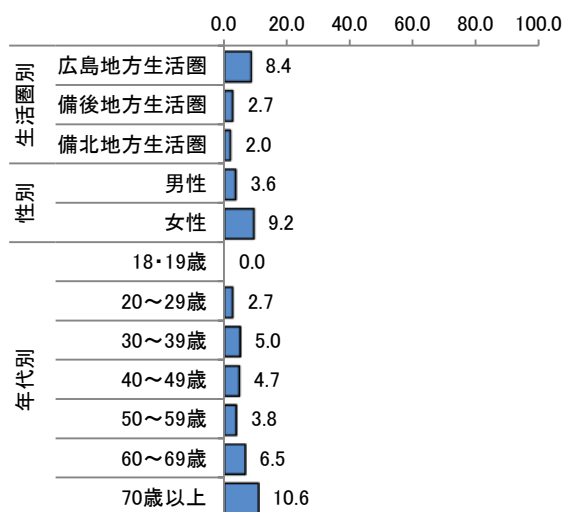
出かける時は、近所に声をかける



子どもに防犯ブザー等を連携させる

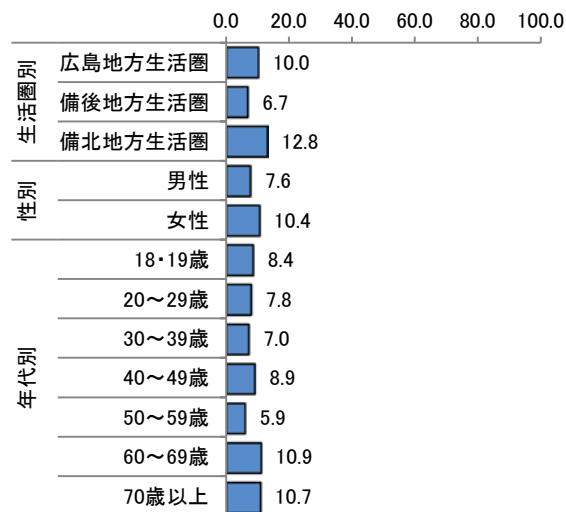


自転車やバイクのカゴに
ひたたくり防止カバーを付ける



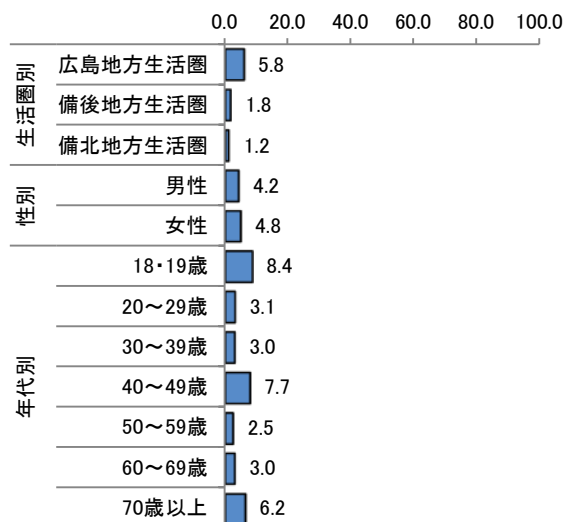
(単位: %)

身近な犯罪に関する情報を積極的に
入手している



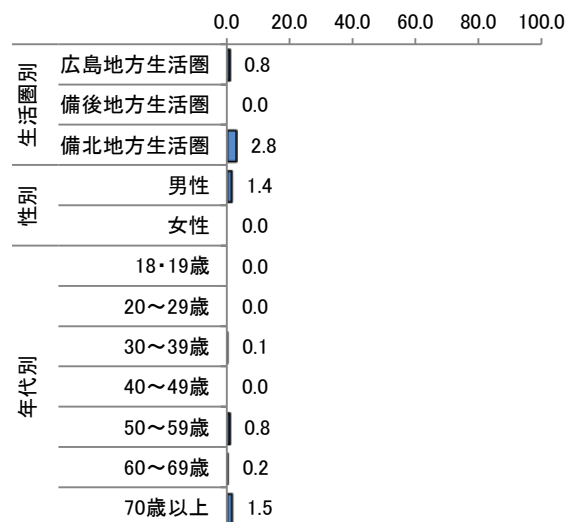
(単位: %)

自宅に防犯サッシ・ガラスを使用している



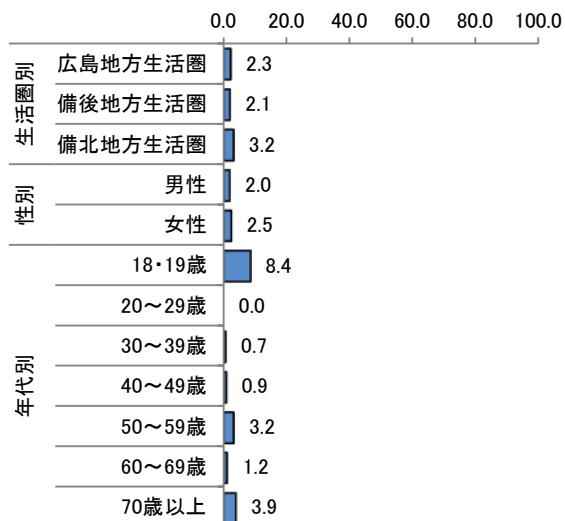
(単位: %)

地域の防犯ボランティア活動に参加して経験を
積んでいる



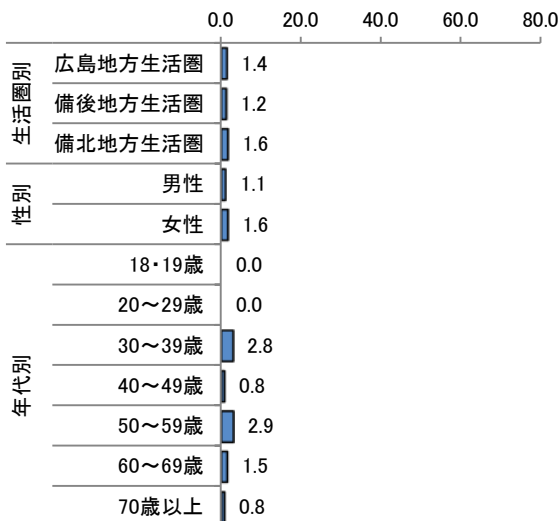
(単位: %)

防犯イベントや防犯講習会へ参加している



(単位: %)

その他



(単位: %)